



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 バナーズ

コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 守屋 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 藤牧由亘

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

TEL 048-523-2018

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	358	△38.9	15	7.0	9	△35.3	4	△67.1
23年3月期第1四半期	586	16.2	14	△16.9	14	48.4	12	△64.3

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 4百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.01	—
23年3月期第1四半期	0.05	0.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	4,771	2,471	51.8	6.13
23年3月期	4,721	2,467	52.2	6.12

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 2,425百万円 23年3月期 2,467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,962	△17.2	60	△39.8	57	565.8	47	—	0.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループは、四半期ごとの売上高等の数値の通期に対して占める比率がセグメントごとに大きく異なるため、第2四半期(累計)連結業績予想は行っておりません。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	404,721,725 株	23年3月期	404,721,725 株
24年3月期1Q	1,534,040 株	23年3月期	1,534,040 株
24年3月期1Q	403,187,685 株	23年3月期1Q	266,721,725 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災により生産・物流体制が影響を受け、経済活動が低下するとともに、消費マインドの冷え込みにより個人消費が低迷するなどの厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループでは、不動産利用事業においては安定収入の維持拡大に向けての再開発に着手するとともに、自動車販売事業においても売上高の拡大・収益増大を図るべく、店舗のリニューアル計画の推進等を行ってまいりました。

その結果、当社グループの売上高は358百万円（前年同期比61.1%）となりました。収益面では、営業利益15百万円（前年同期比107.0%）、経常利益9百万円（前年同期比64.7%）、四半期純利益4百万円（前年同期比32.9%）となりました。

#### [セグメントの概況]

##### （不動産利用）

新規の大手テナント誘致に向けてテナントの入替中という状況であり、売上高は69百万円（前年同期比90.3%）、セグメント利益は49百万円（前年同期比90.1%）となりました。

##### （自動車販売）

震災による影響により商品の入荷が制約されたことや消費マインドの冷え込みにより売上高は289百万円（前年同期比56.8%）、セグメント利益0.3百万円（前年同期セグメント損失7百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、受取手形及び売掛金や前払費用、短期貸付金の増加等により前連結会計年度末比49百万円増の4,771百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は未払金や預り保証金の増加等により前連結会計年度末比45百万円増の2,299百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は利益剰余金の増加により前連結会計年度末比4百万円増の2,471百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に対する修正はありません。

#### （ご参考）

当社の事業領域は、不動産利用事業並びに自動車販売事業であります。

不動産利用事業におきましては、近年の少子高齢化などの社会状況の変化や地域社会のニーズの変化に合致した、地域住民に愛され親しまれる生活密着型の店舗・施設作りやテナント誘致を推進いたしますと共に、こうした経営資源の利用効率の見直し等、慎重で着実なる施策を検討・実施しております。具体的な施策としましては、熊谷市内の当社所有の商業施設の再開発・新規テナント誘致を進めております。平成23年6月9日に株式会社ニトリとの間で土地建物賃貸借予約契約が締結され、平成23年11月中には、新規賃貸建物が竣工する予定であります。

自動車販売事業におきましては、世界的な環境問題への関心の高まりなどを受けた自動車需要のトレンド変化に対応した事業展開を引続き積極的に行います。不確定要素が増える中、需要変動に機敏に対応し、機会損失や在庫リスクの回避に注力いたします。また、ショールームのリニューアルの検討やお客様のニーズに的確に対応したアフターサービスの充実化、保険収益などの付帯利益拡大化、法人営業部門の販売網の構築・強化につとめ、競争力を高めてまいります。具体的な施策として、ショールームのリニューアルの検討を進めた結果、連結子会社の株式会社ホンダニュー埼玉（屋号Honda Cars 熊谷）の熊谷店と寄居店の2店舗のリニューアルを平成24年3月期中に実施する予定です。

こうした取り組みにより、社会・経営環境の変化に迅速且つ的確に対応できる経営体制の構築を継続することにより、さらなる経営効率の向上を図り収益力の増大を図っていく所存であります。

また当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けておりますが、前期の配当につきましては、引き続き当グループの経営環境及び収益状況を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。今後の利益配分の基本方針といたしましては、中期的な観点に立って株主の皆様への安定的な利益還元を行うことを引き続き基本方針と位置付け、復配の実現を目標に、更なる不動産利用事業における安定的な賃貸収入の維持拡大と自動車販売事業の一層の体質強化を推し進め、企業価値の増大を図ることにより今期以降の出来るだけ早期に株主の皆様のご支援にお応えしたいと考えております。平成23年6月29日開催の定時株主総会において株式併合に関する議案が付議され、原案どおり承認可決されました。平成23年10月1日を効力発生日として当社普通株式に

ついて10株を1株に併合いたします。これにより、当社の発行済株式総数は404,721,725株から40,472,172株となる見込であり、これにより比較的近い将来における復配の実現可能性は高まるものと考えております。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	525,694	415,490
受取手形及び売掛金	16,596	32,735
商品及び製品	67,048	47,034
原材料及び貯蔵品	106	42
前払費用	2,782	46,603
短期貸付金	200,000	320,000
繰延税金資産	4,229	6,185
その他	1,664	2,270
貸倒引当金	△172	△272
流動資産合計	817,949	870,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,745,680	2,734,388
減価償却累計額	△1,994,569	△2,000,084
建物及び構築物(純額)	751,111	734,304
機械装置及び運搬具	80,306	82,297
減価償却累計額	△37,584	△40,610
機械装置及び運搬具(純額)	42,721	41,686
工具、器具及び備品	18,264	16,946
減価償却累計額	△16,984	△15,839
工具、器具及び備品(純額)	1,279	1,106
土地	2,998,507	2,998,507
建設仮勘定	1,085	20,803
有形固定資産合計	3,794,706	3,796,409
無形固定資産		
その他	1,641	1,601
無形固定資産合計	1,641	1,601
投資その他の資産		
投資有価証券	18,600	18,600
長期貸付金	734,354	734,354
繰延税金資産	2,051	2,058
その他	16,950	17,485
貸倒引当金	△664,354	△669,354
投資その他の資産合計	107,601	103,144
固定資産合計	3,903,949	3,901,155
資産合計	4,721,899	4,771,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	142,474	93,136
短期借入金	100,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	68,314	66,664
1年内返還予定の預り保証金	43,679	43,679
未払費用	14,381	11,015
未払金	23,541	59,680
未払法人税等	11,648	749
未払消費税等	8,203	4,551
賞与引当金	7,846	2,756
前受金	77,872	73,707
固定資産除却損失引当金	15,225	—
その他	2,847	3,692
流動負債合計	516,035	509,632
固定負債		
長期借入金	125,920	143,093
長期未払金	106,560	102,870
繰延税金負債	4,711	4,652
退職給付引当金	20,972	21,197
役員退職慰労引当金	9,446	8,325
預り保証金	518,571	557,652
再評価に係る繰延税金負債	952,543	952,543
固定負債合計	1,738,725	1,790,333
負債合計	2,254,760	2,299,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	551,076	551,076
利益剰余金	233,995	238,136
自己株式	△30,541	△30,541
株主資本合計	1,061,901	1,066,041
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,405,238	1,405,238
その他の包括利益累計額合計	1,405,238	1,405,238
純資産合計	2,467,139	2,471,279
負債純資産合計	4,721,899	4,771,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	586,960	358,853
売上原価	458,403	245,839
売上総利益	128,556	113,014
販売費及び一般管理費	114,109	97,550
営業利益	14,447	15,463
営業外収益		
受取利息	1,266	1,218
受取配当金	70	67
その他	1,997	225
営業外収益合計	3,333	1,511
営業外費用		
支払利息	1,503	1,256
その他	2,001	6,481
営業外費用合計	3,505	7,738
経常利益	14,275	9,236
特別利益		
貸倒引当金戻入額	202	—
特別利益合計	202	—
特別損失		
固定資産除却損	—	6,706
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,624	—
特別損失合計	4,624	6,706
税金等調整前四半期純利益	9,852	2,530
法人税、住民税及び事業税	412	412
法人税等調整額	△3,143	△2,022
法人税等合計	△2,730	△1,610
少数株主損益調整前四半期純利益	12,583	4,140
四半期純利益	12,583	4,140



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,583	4,140
四半期包括利益	12,583	4,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,583	4,140
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	合計	調整額(注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	76,423	510,536	586,960	—	586,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,921	—	5,921	△5,921	—
計	82,345	510,536	592,881	△5,921	586,960
セグメント利益又は損失(△)	54,568	△7,139	47,429	△32,981	※ 14,447

(注) 1. セグメント利益の調整額32,981千円には、セグメント間取引消去5,921千円、各報告セグメントに配分していない全社費用27,060千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
※四半期連結損益計算書の営業利益

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	合計	調整額(注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	69,005	289,848	358,853	—	358,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,790	—	4,790	△4,790	—
計	73,795	289,848	363,644	△4,790	358,853
セグメント利益又は損失(△)	49,173	373	49,547	△34,084	※ 15,463

(注) 1. セグメント利益の調整額34,084千円には、セグメント間取引消去4,790千円、各報告セグメントに配分していない全社費用29,294千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
※四半期連結損益計算書の営業利益

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。